

最優秀に安力川(武藤組)さん 初のリモート開催、300人参加

群馬建協、技士会が施工技術発表会

群馬県建設業協会(青柳剛会長)と群馬県土木施工管理技士会(大川博之会長)は20日、前橋市の群馬建設会館で、2020年度施工技術発表会を開いた。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、発表会場へ



最優秀者に表彰状を授与

の来場者を少人数に絞った上で、県下12支部と官公庁の聴講希望者をウェブカメラでつないだ初のリモートスタイルとし、約300人が参加した。第12回となることは、土木12件、建築3件の計15件の事例が発表され、審査の結果、武藤組の安力川伸二さんが最優秀賞に輝いた。

開会に当たり青柳会長は「人材確保・育成、生産性向上、災害対応組織力への備えがキーワードとなっている。最近の大規模な自然災害への備えが中心となるが、リカレント(学び直し)研修や最新のICT活用研修も積極的に実施し、技術者のやりがいを支える活動を展開していきたい」とあいさつした。続いて大川会長は「この発表会を通して、会員企業の技術者が持つ優れた施工能力やノウハウ、

創意工夫などのさまざまな事例を学ぶことで、良質な社会資本整備につながると思ってい」と述べた。

最優秀賞に選ばれた武藤組の現場は、関東森林管理局吾妻森林管理署発注の深沢復旧治山工事(長野原町)。土石流で浸食が進んでしまった河川に鋼製自在枠谷止工を施工し、地山を安定させるのがミッションだった。谷止工の中詰め材の現地材料調達・品質管理に当たっては、スケルトンバケットを使った現地発生材のふるい分け採取、設計重量の確定と採取した石の重量試験を実施。経費を削減するため、かご枠の中詰め材にも購入材ではなく、谷止工でふるい分けした石を利用したほか、水たたきや河床、かご枠の巻き込み箇所などの土留めとして、現場にある巨石を使うことで購入資材を軽減した。

表彰式後に講評した関東地方

整備局高崎河川国道事務所の福井貴規所長は「建設業界は特に、説明する力が求められる。その力を試す、伸ばす場として12年にわたり発表会を毎年開催している協会に敬意を表する。発表者の方々が、この経験を通過して少しでも成長し、現場で一層活躍されることを期待している」と激励した。

このほかの受賞企業と工事件名は次のとおり。カッコ内は発表者(敬称略)。

●優秀賞

▽佐田建設(高橋政男) 〓(仮称)安中トンネル工事▽神宮工業(畑瑞貴) 〓GR Garage Nets 群馬CSRC 〓新築工事。

●優良賞

▽徳川組(久保田雅紀) 〓休泊川右岸護岸工事▽カワナベ工業(土屋憂季) 〓笛木通り線道路拡幅・電線共同溝工事▽第一工業(清水直樹) 〓(仮称)新学校給食調理場建築工事▽萩原建設(小林忍) 〓下仁田安中倉洲線ラウンドアウト整備工事▽上原建設(石井義弘) 〓県営農地耕作条件改善事業。

【建設通信新聞 令和2年11月25日】

優秀工事12現場 女性目線で表彰

群馬建協の20年度
GKGコンテスト

群馬県建設業協会（青柳剛会長）の会員企業の女性職員による「環境すみずみパトロール隊」（愛称GKGぐんけんガール）が、女性目線で評価した快適職場を表彰する「環境すみずみ（GKG）コンテスト」が行われ、3回目となる2020年度の優秀工事現場に12件が選ばれた。

前橋市内で20日開いた施工技術発表会に合わせて表彰式を行い、GKGが受賞者代表に表彰状を授与した。写真。

GKGは、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）活動の推進状況や女性専用トイレ・更衣室の設置状況、身なり・服装、言葉づかい・態度などをチェック。今回から新たに、新型コロナウイルス感染症対策の実施状況も確認項目に加えた。男性では気づきにくい部分を指摘するなどし



て、どれもが快適で働きやすい職場づくりを推進している。

表彰現場は次のとおり。

▽明桜中学校校舎ほか大規模改造建築工事小林工業・三原工業
JV▽補助公共社会資本総合整備（活力・重点）分割100号（2号）高橋建設
▽補助公共社会資本総合整備（防災・安全）（代行）（分割1号）桐生市黒保根町下田沢地内（市道1級208号線）山藤組。
▽社会資本総合整備副道路整備工事（分割1号）田中建設
▽補助公共社会資本総合整備（活力・重点）放流渠工事分割2号協和建設
▽社会資本総合整備（防災・安全）国道防災（分割1号）国道353号村上工区
石関工務店
▽補助公共社会資本総合整備2方え

ん堤工事戸島沢沼田土建。

▽防災公園備蓄倉庫新築工事
関口廣建設▽補助公共社会資本総合整備（活力・重点・補正）国道18号交差点工事
関東建設工業▽補助公共道路改築事業（国道・連携）（仮称）万木沢2号函渠工事
国道145号上信自動車道吾妻西バイパス池原工業。
▽社会資本総合整備（防災・安全）（無電柱化）事業富岡市富岡地内富岡工区（富岡交差点）
佐藤産業▽千代田第二工業団地造成工事（分割3号）真仁田土建。

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木施工管理技士会（大川博之会長）は20日、前橋市の群馬建設会館で2020年度の施工技術発表会を開いた。12支部の会員企業の担当者が15件を発表。最優秀賞に吾妻支部の武藤組の安力川伸二



最優秀賞の安力川さん（前列右）、青柳会長（同左）ら主な受賞関係者

さんの発表事例を選んだ。発表会は、国土交通省関東地方整備局の出先事務所や群馬県の土木事務所27カ所と、群馬建協12支部の拠点ウェブシステムで接続し、計約400人が聴講した。

官公庁を含めたリモート方式で発表会を行ったのは初めて。新型コロナウイルス

最優秀賞の安力川さんは、関東森林管理局吾妻森林管理署が発注した「深沢復旧治山工事」（長野原町）の取り組みを発表した。工事は、豪雨や台風の土石流で浸食された岸や河床があり、地山を鋼製自在砕谷止によって安定させるのが狙い。中詰め材を現地で採取し、荷重を考慮して品質を審査委員は群馬建協の大川弘志土木舗装委員長が務めた。審査委員の福井貴規国土交通省高崎河川国道事務所長は、「課題に創意

工夫と技術力で向き合っ仕事だと改めて分かるプレゼンテーションをしてもらった。解決すべき課題の説明もあった。甲乙付けがたかった」と全体講評を述べた。

「施工のノウハウ、創意工夫の学びは良質な社会資本整備に貢献することになる」とあいさつ。来賓の大塚雅昭群馬県土木整備部建設企画課長は「最前線の現場を担う経営者は時代の変化に対応する必要がある」と指摘した。

優良賞、佳作の受賞者は次の通り。企業・氏名（所属支部）。敬称略。

最優秀は武藤組の安力川さん 群馬建協ら技術発表会

スの感染を防ぐとともに、団体活動にICT（情報通信技術）を積極的に生かそうと実施に踏み切った。12支部が土木の事例を1件ずつと、3支部が建築の事例を3件発表した。優秀賞には前橋支部の佐田建設の高橋政男さんと、高崎支部の神宮工業の畑瑞貴さんの発表事例を選定した。

確保するのが課題だった。材料にする石は特殊なバケットを装着した油圧ショベルでふるい分けた。1立方メートルで重量の試験を現地で行うのが難しく、8分の1サイズの2種類の試験を行い、設計重量を確定した。土留めに現地の巨石を使うなど、購入する材料を減らしてコストを下げた。

- 〈優良賞〉萩原建設・小林忍（安中）▽上原建設・石井義弘（富岡）▽徳川組・久保田雅紀（館林）▽カワナベ工業・土屋慶季（高崎）▽第一工業・清水直樹（伊勢崎）
- 〈佳作〉三興エンジニアリング・青木勇（桐生）▽神澤組・太田和彦（伊勢崎）▽金井工事・小谷野豪（太田）▽石橋建設工業・荻野一好（太田）▽井口建設・高橋一幸（渋川）▽角田建設工業・石井千華（沼田）▽安原工業・塩原篤（藤岡）。

最優秀は安力川氏

施工技術発表会を開催



青柳会長



大川会長

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木施工管理技士会（大川博之会長）は20日、群馬建設会館で12回目となる施工技術発表会を開催した。12支部から土木工事12件、建築工事3件が発



表彰状を受け取った



大塚課長

表され、武藤組の安力川伸二氏が最優秀賞を受賞した。発表会は、Webを通じて各支部にも配信した。合わせて、女性の目線で職場の快適さを審査する環境すみずみコンテストも開催。12支部で優れた取り組みを行った現場に表彰状が送られた。冒頭、青柳会長は「時代とともに内容も変わっ

ており、これからも技術方向上に務めてほしい」とあいさつ。続いて、大川会長が「各現場の創意工夫などを学ぶことは、良質な社会資本整備につながる」と話した。来賓を代表して、県土木整備部建設企画課の大塚雅昭課長が「安全や施工の効率化など時代に合わせ変」と述べた。

審査後の講評で国土交通省高崎河川国道事務所福井貴規所長は「建設業は説明する力が求められており、この発表会はその力を試す場、伸ばす場としても大変重要。いずれも想いと工夫が詰まった素晴らしい発表だった」と発表者をたたえた。

審査結果は次のとおり（敬称略）

- 【最優秀賞】
 - ◇安力川伸二（武藤組）
 - ◇高橋政男（佐田建設）
 - ◇畑瑞貴（神宮工業）
- 【優良賞】
 - ◇小林忍（萩原建設）
 - ◇石井義弘（上原建設）
 - ◇久保田雅紀（徳川組）
 - ◇土屋憂季（カワナベ工業）
 - ◇清水直樹（第一工業）

安力川さん（武藤組）最優秀賞

前橋で施工技術発表会



表彰される最優秀賞の安力川さん（右）

建設現場での創意工夫や新技術活用が披露された。群馬建設会館で開かれた。土木建築協会の12支部から選ばれた15社が発表し、最優秀賞に

武藤組（吾妻支部）の安力川伸二さんが選ばれた。安力川さんは長野原町で山の浸食を防止する「谷止工」を設置する際、現地にある岩を活用して経費を削減した事例を映像などを交えて紹介した。「こだわりと向上心を忘れずに、これからも良いものづくりをしていきたい」と述べた。

発表会は、会員の技術力と提案力の向上を目的に同協会（青柳剛会長）と県土木施工管理技士会（大川博之会長）が主催している。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のために12支部をインターネットでつないで開き、会員ら約300人が参加した。

安力川さん以外の成績優秀者は次の通り（敬称略、かつこ内は支部名、会社名）。

- ▽優秀賞 高橋政男（前橋、佐田建設） 畑瑞貴（高崎、神宮工業）
- ▽優良賞 小林忍（安中、萩原建設） 石井義弘（富岡、上原建設） 久保田雅紀（館林、徳川組） 土屋憂季（高崎、カワナベ工業） 清水直樹（伊勢崎、第一工業）